Koaze (nom. nud.) については，小畔氏が「鹿児島県産新種稀種粘菌略説」(1935年11月) 中に，日本語で概要を誌しているが，正式記載されることは無かった。借用標本の調査の結果，着合胞子をもつ点で，*Diachea* の中でも特異な新種と判断し，小畔氏の変形菌に関する業績を記念して，*Diachea koazei* と命名して記載を行なった。標本借用に際し，お世話頂いた萩原氏にお礼申し上げる。

□呉　征鎰(主編)，中国雲南人民出版社(編集)：**雲南の植物 I** 482 pp., **II** 530 pp., **III** 522 pp. 1986. 日本放送出版協会，東京．¥75,000(分売不可)．中国の植物はわれわれ日本の分類学研究者にとって垂涎の的であり，手続き上の困難を冒して調査に訪れる者が激増している。本書は中国でも最も豊富なフロラを誇る雲南の植物図鑑で，総計1133種が収録されている。各巻の前半はカラー写真，後半は種ごとのくわしい記相文，分布，用途が，玉川大学許田倉園氏の訳による和文で記されている。カラー写真の見事さと共に，和文であるために使い勝手は格段に良い。植物華名とともに和名のあるものはそれを，ないものは中国名の日本式読みが付されている。分布については本文に添えた地図に産地が番号で示されていて，地名の位置が一目でわかるから便利である。なお総索引は第 I 巻にある。各巻頭にはそれぞれ原寛，北村四郎，津山尚の諸氏が日本語編集協力者として序文をよせている。いずれもヒマラヤ植物研究の先達で，将来も広い範囲の研究者の日華協力を期待しての配慮と見受けられる。　(金井弘夫)

□池上義信(監修)・石沢　進(編集)：**新潟県植物分布図集第 7 集** 458 pp. 1986. 植物同好じねんじょ会 (小千谷市山寺 関省吾方)．¥6,000 (送料 500円)．あらたに 100 種の分布図とその準拠標本データが示された。あいかわらずみごとな出来である。アオキウドンコ病の分布がアオキよりはナガバジャノヒゲの分布に類似しているという指摘などは，これまでの蓄積があってはじめて気付かれたことだろう。前集までの補遺は適当な時期にオムニバスの分布図として示してくれると有難い。わが国の書籍には奥付があることが，書誌情報のよりどころとして外国の本にくらべてすぐれている点なので，頒価をふくめて奥付を常につけてもらいたい。　(金井弘夫)

□土田勝義(編)：**長野県の植生** 277 pp. 1987. 信濃毎日新聞社，長野．¥2,500. 長野県は植生調査がゆきとどいて行われており，それをふまえて植物図鑑と同じ発想の植生図鑑がつくられた。編者のほか松田行雄，山崎惇，横内正人の三氏の執筆になる。「自然の事物はただ名前を知ればそれで終りではない。それはあくまで始まりである。」という序文に賛成する。A 5 版でハンディを目的としているが，全アート紙，ほとんど毎頁カラー写真の豪華版である。県全体の概況から主要植生単位にわたり，かなり細かく区切って解説している。　(金井弘夫)